

● ● ● 標本調査

政策専攻・経営学系専攻(B,M)
基本科目
経営学系専攻(R)応用科目

水曜6限(18:30~20:00)
509セミナー室
担当:竹内恵行

1

10/7/09

● ● ● 本日の講義内容

- 授業目的
 - 何故「調査票調査」の方法を学ぶのか?
- 履修要件
- 教科書・参考書
- 授業の進め方
- 成績評価
- 講義スケジュール
- その他(適性度チェック)

2

10/7/09

● ● ● 授業目的

- 調査研究(フィールドワーク)で用いられる社会調査法の習得
- 具体的には、標本調査法(調査票調査)とその関連手法を学ぶ

3

10/7/09

● ● ● 何故「調査票調査」の方法を学ぶのか?

- 「調査票調査」(アンケート調査)の方法
 - 社会学部では学部1年次配当の必修科目
 - 経済・経営・商学系学部では殆ど開講されない
 - 大学院でも開講されることは殆どない
- シンクタンク、マーケティング・リサーチ会社
 - 「調査票調査」の実施・解析業務も少なくない
- 調査方法には方法論(理論)がある
 - 見よう見まねの調査は失敗の元
 - 失敗しても、再調査は行いにくい

4

10/7/09

● ● ● 質問:街頭アンケート

- 街頭アンケートで次の質問をされたときに、あなたはどのような印象をもち、また回答しますか。
 - Q1:あなたの昨晚の睡眠時間を教えてください。
 - Q2:あなたの預貯金の総額を教えてください。
 - Q3:あなたが過去に性交渉をもった人数を教えてください。
- たとえ学術目的であっても、プライベートな事柄に関する質問には警戒心を抱く

5

10/7/09

● ● ● 現実と調査結果

- 調査結果 = 「現実」という思い込みは危険
 - 調査結果はあくまでも写し取ったもの
- 数量化されたデータ
 - 数字がひとり歩き・・・「現実」とのギャップ

現実をうまく写し取れるかどうかは調査に依存

6

10/7/09

履修要件

- 学部程度の統計学の知識があること。
- データに基づく「実証研究」に関心のあること。
- 統計学の知識に自信のない受講者は、学部レベルのテキスト(大屋、森棟、刈屋、勝浦など)を事前に読んでおくこと。

7

10/7/09

教科書

- メインテキスト
盛山和夫(2004), 『社会調査法入門』, 有斐閣
(生協書籍部で入手可能)
- サブテキスト
Babbie, E. (2003), The Practice of Social Research, 10th ed., Wadsworth.
Babbie, E. (渡辺聰子監訳)(2003), 『社会調査法1:基礎と準備編』, 培風館(上記9版の邦訳)

8

10/7/09

参考書

- 佐藤郁哉(1992), 『フィールドワーク』, 新曜社 (必読)
- 森岡清志(編著)(1998), 『ガイドブック社会調査』, 日本評論社
- 田尾・若林(編著)(2001), 『組織調査ガイドブック』, 有斐閣
- 盛山・近藤・岩永(1992), 『社会調査法』, 放送大学教育振興会
- 西平重喜(1985), 『統計調査法 改訂版』, 培風館
- 豊田秀樹(1998), 『調査法講義』, 朝倉書店
- Lave, C.A. and March, J.G. (佐藤嘉倫他訳)(1991), 『社会科学のためのモデル 入門』, ハーベスト社

9

10/7/09

授業の進め方

- 講義

知識を与えるだけでなく、実践できるような力を養成するために、以下の方法も活用

- ケーススタディ
- グループワーク(プロジェクト)

10

10/7/09

成績評価

- グループワークの報告およびレポート(50%)
 - 教員評価 + 受講生の相互評価
- 期末試験(50%)
 - 持ち帰り試験

11

10/7/09

講義スケジュール

回	月日	講義内容
1	10月 7日(水)	§0. イントロダクション
2	10月14日(水)	§1. 社会調査とその方法
3	10月21日(水)	§2. データと分析モデル
4	10月28日(水)	ケース & ディスカッション(1)
	11月 4日(水)	まちなね祭のため休講
5	11月11日(水)	§3-1. 社会調査の設計
6	11月18日(水)	§3-2. 調査票の作成
7	11月25日(水)	§3-3. 測定と尺度 & §3-4. 尺度の再構成
8	12月 2日(水)	§3-5. サンプリングの方法
9	12月 9日(水)	§3-6. 調査の実施
10	12月16日(水)	§4. 予備的分析
	12月23日(水)	国民の休日(天皇誕生日)
11	1月 6日(水)	§5. 調査例: 政府の統計調査
12	1月13日(水)	ケース & ディスカッション(2)
13	1月20日(水)	グループワーク課題解説など
14	1月27日(水)	グループワーク・プレゼンテーション

12

10/7/09

●●● 適性度チェック

13

10/7/09

●●● 質問A-1：佐藤郁哉(1992)『フィールドワーク』より抜粋 自分にあてはまるものについて ×を付けてください

- 何でも数字におきかえなければガマンできない
- グラフや表が出てくるとわけもなく「科学的だ」と思ってしまう
- 物事を「狭く深く」というよりは「広く浅く」知りたい
- あいまいなことが死ぬほど嫌いだ
- なるべく効率よく仕事をしたい無駄なことは大嫌いだ
- うだうだと理屈をこねるのが何よりも好きだ

14

10/7/09

●●● 質問A-2

- 理屈なんか要らない、要するに「現場」に行って肌で感じとれればいいんだと思っている
- 「徒弟制度」という言葉を聞いただけでジンマシンがでる
- 人と話をするのは大の苦手で嫌いだ
- メモをとるのは面倒くさくてイヤだ
- 原稿用紙20枚以上の文章なんてとても書けない

15

10/7/09

●●● 質問B

- 一見つまらないように見えることでも感心したり感動できる
- 自分のことをつき放して観察できる
- ある程度いい加減でずぼらだと思う
- ある程度シツコクでクドい方だと思う

16

10/7/09

●●● 質問A, Bの の数

- 質問Aの の数
 - 3つ未満 質問Bの の数が多い場合はフィールドワーカーとして有望
 - 3つ以上 フィールドワーク向きではない

17

10/7/09